

2019年4月吉日

上智大学外国語学部
イスパニア語学科卒業生 各位

第13回イスパニア語学科同学会のご案内

新緑の候、皆さまお変わりなくお過ごしのことと存じます。

恒例となりましたイスパニア語学科同学会の卒業生部会総会および在学生・教職員部会との合同親睦会。13回目を迎える今年も、5月のAll Sophians' Festival (ASF) の日に下記の要領で開催いたします。

高山智博先生、小林一宏先生、Jaime Fernández先生、石崎優子先生、吉川恵美子先生、幡谷則子学科長、谷洋之先生、松原典子先生、Bernat Martí Oroval先生、西村君代先生、内村俊太先生、また新しく赴任されたAingeru Aroz先生等多くの先生方もご出席予定です。

また、昨年に引き続き、総会の後には講演会を予定しております。1990年卒の西村秀人氏をお迎えし、ラテンアメリカ音楽について講演していただきます。(詳細については別紙をご覧ください。)

ご家族、ご友人をお誘い合せの上、是非ともご参加のほどよろしく願いいたします。

卒業生部会会長 穴原 謙 (1971年卒)
副会長 早川 比佐 (1979年卒)

記

日時：2019年5月26日（日曜日 12:00～15:00（受付開始 11:30より）

会場：上智大学四谷キャンパス12号館3階302教室
北門から入って右手すぐの建物です。

https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya.html

プログラム：

- 第一部 12:00 卒業生部会総会
12:20 講演会「ラテンアメリカ音楽の広がり～多様性と共感の交差点」
- 第二部 13:00 同学会 合同親睦会
14:30 フラメンコ舞踊（上智大学フラメンコサークルアレグリーアス）
15:00 散会予定

会費： 2,000円

（但し金祝・ルビー祝・銀祝・銅祝該当者とその同伴者および在学生、お子様は無料）

連絡先：穴原 謙 (1971年卒) anahara@si-tech.co.jp
幡谷 則子 (1983年卒) n-hataya@sophia.ac.jp

イスパニア語学科同学会卒業生部会主催 第3回卒業生講演会
「ラテンアメリカ音楽の広がり～多様性と共感の交差点」

講師：西村 秀人氏（1990年卒業）

高校時代にラテンアメリカ音楽に関心を持ってから30年。
アルゼンチンを中心に音楽研究と音楽文化普及に従事してきた
西村氏によるアルゼンチンとブラジルの多様な接点、
アルゼンチンを介してたどり着いたパナマ音楽との縁、
似て非なる隣国同士アルゼンチンとウルグアイの音楽などなど、
身をもって感じたラテンアメリカ文化の多様性と共感の豊かさについて語っていただきます。

今年サポートを予定している来日アーティストに関するお話など、
新情報も伺える予定です！



略歴：
1967年東京生まれ。上智大学外国語学部イスパニア語学科、同大学院外国語学研究科国際関係論専攻を経て、現在名古屋大学大学院人文学研究科准教授、日本タンゴ・アカデミー理事、アルゼンチン国立タンゴ・アカデミー院外会員。アルゼンチン、ウルグアイを中心に中南米の音楽文化を研究。音楽誌への記事執筆、音楽CDの選曲・解説・歌詞対訳、音楽家招聘サポート、公演主催などを長年続けている。



<主な著書>

- ・西村秀人・斎藤充正共編著「200DISCS ピアソラ/タンゴの名盤を聴く」立風書房、2000年
- ・ラテンアメリカ音楽の「国際性」をめぐって（畑恵子、山崎眞次編著「ラテンアメリカ世界のことばと文化」に所収）、早稲田大学国際言語文化研究所、2009年
- ・日本におけるアルゼンチン・タンゴの受容—ソフトなパワーとしてのダンスと音楽、（浅香幸枝編「地球時代のソフトパワー 内発力と平和のための知恵」第4部ソフトパワーとソフトなパワーの諸相 第11章として所収）、行路社、2012年
- ・Hideto Nishimura: Tango en Japón: entre lo japonizado y lo auténtico, El tango ayer y hoy, Centro Nacional de Documentación Musical Lauro Ayestarán (2014, pp. 367-389) <http://www.cdm.gub.uy/el-archivo-digital/publicaciones/tango>